

二〇二二年七月一日(参加者三名)

揺り椅子に身を委ねつつレース編む	みづき
ひざまづき病葉を撮るカメラマン	小袖
病葉に残る緑のありにけり	ぼんこ
黒レース着て人目引く女かな	うつぎ
病葉の重なりあへる木の根道	たか子
スワトウのレースハンケチ母偲ぶ	もとこ
朝日洩るレースのカーテン目覚め良し	満天
病葉の寧しと落つる畜魂碑	素秀
汕頭のレースに旅を懐かしむ	うつぎ
襟白きレースのシャツの留学生	素秀
病葉がマリアの像の裾埋む	はく子
病葉の半分はまだみずみずし	こすもす
センターは白のレースや今朝の卓	せいじ

病葉の貼り付く亀の甲羅かな	やよい
卓に敷くレース孔雀の羽根模様	明日香
晩年の今が幸せレース編む	うつぎ
風纏ひレースカーテン大欠伸	豊実
風が梳く髪のスナほやレースの子	もとこ
踏み惑ふほど病葉や裏参道	よし子
足湯する病葉浮きし有馬の湯	みづき
寄る辺なき母の枕辺レース編む	わかば
おさげの子レースのリボン跳ねてくる	よう子
露天湯や病葉払ふ脱衣籠	みづき
レース編むテラスの風の心地良き	智恵子

WEB句会みのる選・二〇二二年七月一日